

釧路市国民健康保険第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)素案

概要版

1 計画の趣旨

【背景・目的】

近年、特定健康診査(以下「特定健診」という。)の実施や、診療報酬明細書(以下「レセプト」という。)の電子化の進展、国保データベースシステム等の整備により、市町村国保がそれらを活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

こうした中、平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、保険者にはレセプト等のデータを活用した保健事業を進めていくことなどが求められています。

平成30年度から始まる新たな国民健康保険制度においては、都道府県が財政運営の中心的な役割を担い、市町村は地域住民と身近な関係の中、被保険者の資格管理や保険給付、保険料(税)の決定・賦課徴収のほか、医療費の適正化に向けた保健事業など、地域におけるきめ細やかな事業を引き続き担うこととなります。

また、新たな制度の中で、特定健診受診率、特定保健指導実施率及び生活習慣病の重症化予防対策等への取組みを評価する保険者努力支援制度が創設されることとなります。

こうした背景を踏まえ、釧路市国民健康保険(以下「釧路市国保」という。)では、「第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)」と「第3期特定健康診査等実施計画」を一体的に策定し、被保険者が健やかに生活できるよう健康寿命の延伸を図るとともに、将来的な医療費の伸びを抑制していくための取組みを進めます。

～保健事業実施計画(データヘルス計画)と特定健康診査等実施計画～

項目	第2期保健事業実施計画 (データヘルス計画)	第3期特定健康診査等実施計画
計画期間	平成30年度～平成35年度	平成30年度～平成35年度
法律	国民健康保険法(第82条)	高齢者の医療の確保に関する法律(第19条)
対象者	釧路市国保被保険者全員	40歳から74歳までの釧路市国保被保険者
内容	被保険者の特定健康診査及び電子化されたレセプト等のデータの内容を分析し、健康課題を明確にした上で、効果的・効率的な保健指導等を実施するための計画。	特定健康診査及び特定保健指導の具体的な実施方法を定める計画。

一体的に策定

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)

【計画の位置付け】

本計画は、「健康日本 21(第二次)」の基本方針を踏まえるとともに、「健康くしろ 21 第 2 次計画」等との整合性を図りながら策定します。

【計画期間】

平成 30 年度から平成 35 年度までの 6 年間。

【本計画の考え方】

釧路市国保では、被保険者が健やかに生活できるよう健康寿命の延伸を図るとともに、将来的な医療費の伸びを抑制していくための取組みを進めるにあたり、前期計画の評価及び医療・健診・介護の状況等について分析・考察を行い、健康課題を把握しました。この結果に基づき、医療費が高額となり、さらに将来的に要介護状態となる可能性が高い、脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合を減少させることや、糖尿病性腎症による新規人工透析患者数を減少させることを中長期的な目標とし、最優先に取組みます。この目標を達成するため、3つの重篤な疾患の共通リスク(基礎疾患)となる糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の発症予防や重症化予防の強化に重点をおいた特定保健指導等に取り組めます。また、これら生活習慣病の発症予防や重症化予防を強化するうえで、特定健診を通じて被保険者が自分自身の健康状態を知ることが重要となるため、特定健診受診率向上対策も強化します。

2 概 要

章	主な項目	主な説明内容
第1章(P5～P16) 保険者等の地域特性 とこれまでの取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 釧路市の地域特性 ● 釧路市国保のこれまでの取組 	全国・北海道・同規模保険者と比較した釧路市及び釧路市国保の地域特性と全体像の把握、釧路市国保のこれまでの取組みについて説明。
第2章(P17～P25) 第3期特定健康診査 等実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健診及び特定保健指導の対象者数に関する事項 ● 特定健診の実施方法に関する事項 ● 特定保健指導の実施方法に関する事項 	「高齢者の医療の確保に関する法律第19条」に基づく、特定健診及び特定保健指導の実施方法について説明。
第3章(P26～P34) 前期計画に関する分析・評価及び考察	<ul style="list-style-type: none"> ● 前期計画の実施に関する分析・評価及び考察 	<p>下記事項の分析・評価及び考察について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症による新規人工透析患者数や脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数等の推移 ・特定健診受診率及び特定保健指導実施率の推移 ・重症化予防対象者の健診結果の改善割合の推移
第4章(P35～P55) 医療・健診・介護の状況と分析	<ul style="list-style-type: none"> ● 国保の医療費の状況と分析 ● 高額な医療費がかかる疾患の状況と分析 ● 高額な医療費がかかる疾患の基礎疾患に関する治療状況と分析 ● 特定健診と特定保健指導等の状況と分析 	<p>下記事項の状況と分析について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1カ月の一人当たり医療費及び総医療費のうち生活習慣病の占める割合の状況 ・脳血管疾患及び虚血性心疾患患者、人工透析患者のレセプトの状況 ・新規人工透析患者数の状況 ・レセプト1件当たりの医療費の状況 ・脳血管疾患、虚血性心疾患及び糖尿病性腎症と診断された人が併せ持つ基礎疾患の状況 ・特定健診受診率及び特定保健指導実施率等の状況
第5章(P56～P57) 分析結果に基づく釧路市の健康課題の把握	釧路市の地域特性及び医療・健診・介護の状況の分析結果に基づく健康課題について説明。	
第6章(P58) 健康課題に対応した目的・目標の設定	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的 ● 成果目標 	釧路市の地域特性及び医療・健診・介護の状況の分析結果に基づく、健康課題に対応した目的、成果目標の設定内容について説明。
第7章(P59～P61) 保健事業の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的達成に向けた具体的な取組 	釧路市の健康課題に対応した目的を達成するための具体的な取組みについて説明。
第8章(P62～P64) 計画の評価・見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 評価指標 ● 計画の評価・見直し 	本計画の評価方法の設定、評価時期及び見直しに関する事項について説明。
第9章(P65) 計画の公表・周知等	<ul style="list-style-type: none"> ● 計画の公表・周知等 	本計画の公表・周知の方法等について説明。

3 主な内容

第1章 保険者等の地域特性とこれまでの取組

<p>■釧路市の地域特性</p>	<p>●平成 27 年の釧路市の高齢化率(65 歳以上)は 30.4%で、全国・北海道と比較すると高い状況となっています。(P6)</p> <table border="1" data-bbox="547 324 1422 400"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>釧路市</th> <th>北海道</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢化率</td> <td>30.4%</td> <td>29.1%</td> <td>26.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 27 年の釧路市の平均寿命は男性 78.6 歳、女性 84.8 歳で、健康寿命は男性 64.8 歳、女性 65.9 歳となり、いずれも全国・北海道・同規模保険者と比較すると低い状況となっています。(P6)</p> <table border="1" data-bbox="547 577 1422 766"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>釧路市</th> <th>同規模保険者</th> <th>北海道</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">平均寿命</td> <td>男性</td> <td>78.6 歳</td> <td>79.9 歳</td> <td>79.2 歳</td> <td>79.6 歳</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>84.8 歳</td> <td>86.3 歳</td> <td>86.3 歳</td> <td>86.4 歳</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康寿命</td> <td>男性</td> <td>64.8 歳</td> <td>65.4 歳</td> <td>64.9 歳</td> <td>65.2 歳</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>65.9 歳</td> <td>66.9 歳</td> <td>66.6 歳</td> <td>66.8 歳</td> </tr> </tbody> </table> <p>●釧路市の疾患別等の標準化死亡比(SMR)は、腎不全が最も高く、全国と比較すると約 1.6 倍と高い状況となっています。(P8)</p> <table border="1" data-bbox="547 898 1422 974"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>釧路市</th> <th>北海道</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎不全の SMR</td> <td>157.6</td> <td>129.5</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 28 年度の釧路市国保被保険者の 65 歳以上の加入割合は 46.9%となり、全国・北海道と比較すると高齢者の割合が高い状況となっています。(P9)</p> <table border="1" data-bbox="547 1151 1422 1227"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>釧路市</th> <th>北海道</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65～74 歳の加入割合</td> <td>46.9%</td> <td>41.7%</td> <td>38.2%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 28 年度末における釧路市介護保険の第 1 号被保険者(65 歳以上)の認定率は 20.0%となり、5 人に 1 人が要介護認定を受けている状況となっています。(P9)</p> <p>●要介護 3～5 の人の割合は、第 1 号要介護認定者より第 2 号要介護認定者(40 歳から 64 歳まで)が高い状況となっています。(P10)</p>	項目	釧路市	北海道	全国	高齢化率	30.4%	29.1%	26.6%	項目		釧路市	同規模保険者	北海道	全国	平均寿命	男性	78.6 歳	79.9 歳	79.2 歳	79.6 歳	女性	84.8 歳	86.3 歳	86.3 歳	86.4 歳	健康寿命	男性	64.8 歳	65.4 歳	64.9 歳	65.2 歳	女性	65.9 歳	66.9 歳	66.6 歳	66.8 歳	項目	釧路市	北海道	全国	腎不全の SMR	157.6	129.5	100.0	項目	釧路市	北海道	全国	65～74 歳の加入割合	46.9%	41.7%	38.2%
項目	釧路市	北海道	全国																																																		
高齢化率	30.4%	29.1%	26.6%																																																		
項目		釧路市	同規模保険者	北海道	全国																																																
平均寿命	男性	78.6 歳	79.9 歳	79.2 歳	79.6 歳																																																
	女性	84.8 歳	86.3 歳	86.3 歳	86.4 歳																																																
健康寿命	男性	64.8 歳	65.4 歳	64.9 歳	65.2 歳																																																
	女性	65.9 歳	66.9 歳	66.6 歳	66.8 歳																																																
項目	釧路市	北海道	全国																																																		
腎不全の SMR	157.6	129.5	100.0																																																		
項目	釧路市	北海道	全国																																																		
65～74 歳の加入割合	46.9%	41.7%	38.2%																																																		
<p>■釧路市国保のこれまでの取組</p>	<p>●特定健診受診率向上対策(P11～P12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診未受診者への受診勧奨電話 ・ 診療情報提供受領事業 ・ 健康診断情報提供受領事業 ・ 特定健診料無料化(モデル事業) <p>●特定保健指導実施率向上対策(P13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定保健指導対象者への利用勧奨電話 ・ 特定保健指導未利用者への個別訪問による保健指導 <p>●重症化予防対策(P13～P14)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HbA1c6.5%以上(糖尿病治療者は 7.0%以上)、Ⅱ度高血圧(160/100mmHg)以 																																																				

	上、LDL コレステロール 180mg/dl 以上、eGFR45ml/分/1.73 m ² (70 歳以上は 40 ml/分/1.73 m ²)未満のいずれかに該当する人に個別の保健指導を実施しています。
--	---

第 2 章 第 3 期特定健康診査等実施計画

■特定健診及び特定保健指導の対象者数に関する事項	●特定健診対象者数等の推計(P17)						
	項 目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
	対象者数	25,670 人	24,450 人	23,600 人	22,860 人	21,710 人	20,350 人
	受診者数	8,215 人	8,558 人	8,968 人	9,373 人	9,553 人	9,565 人
	受診率	32.0%	35.0%	38.0%	41.0%	44.0%	47.0%
	健診実施年度中に 40 歳から 74 歳となる被保険者を対象としています。(P18)						
	●特定保健指導対象者数等の推計(P17)						
	項 目	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	平成 35 年度
	対象者数	1,060 人	1,104 人	1,157 人	1,209 人	1,233 人	1,234 人
	終了者数	557 人	596 人	642 人	689 人	721 人	740 人
	実施率	52.5%	54.0%	55.5%	57.0%	58.5%	60.0%
	特定健診の結果、腹囲または BMI のほか、血糖、血圧、脂質が所定の値を上回る人のうち、糖尿病、高血圧症、脂質異常症の服薬をしていない人を対象としています。(P21)						

第 3 章 前期計画に関する分析・評価及び考察

■中長期的な目標の分析・評価及び考察	●中長期的な目標(P26～P27)			
	目標： <u>糖尿病性腎症による新規人工透析患者数を減少させる</u> 平成 27 年度と平成 28 年度の釧路市国保の糖尿病性腎症による新規人工透析患者数を比較すると 1 人減少したことから目標を達成できました。			
	項 目	新規人工透析患者数	糖尿病性腎症による 新規人工透析患者数	
	平成 25 年度	27 人	12 人	
平成 26 年度	24 人	8 人		
平成 27 年度	21 人	10 人		
平成 28 年度	18 人	9 人		
			増減人数	
平成 25 年度			-1 人	
平成 26 年度			-4 人	
平成 27 年度			2 人	
平成 28 年度			-1 人	
	目標： <u>脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合を減少させる</u> 平成 27 年度と平成 28 年度の釧路市国保の脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合は減少したことから目標を達成できました。(脳血管疾患 0.3 ポイント減少、虚血性心疾患 0.6 ポイント減少)			
項 目	脳血管疾患		虚血性心疾患	
	患者数	生活習慣病患者 に占める割合	患者数	生活習慣病患者 に占める割合
平成 25 年度	1,963 人	12.1%	2,051 人	12.6%
平成 26 年度	1,902 人	12.2%	1,936 人	12.4%
平成 27 年度	1,828 人	11.9%	1,774 人	11.5%
平成 28 年度	1,713 人	11.6%	1,610 人	10.9%

■ 短期的な目標の分析・
評価及び考察

● 短期的な目標

目標：特定健診受診率を向上させる (P28)

平成 25 年度と平成 28 年度の特定健診受診率は、17.5%から 26.9%と 9.4 ポイント上昇しています。しかし、各年度の目標は達成できず、また、平成 25 年度から平成 27 年度までの受診率を全国・北海道と比較すると低い状況となっています。

項目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象者数		30,752 人	30,191 人	29,234 人	27,484 人
受診者数		5,388 人	5,679 人	6,650 人	7,398 人
釧路市国保目標受診率		20.0%	25.0%	30.0%	35.0%
受診率	釧路市国保	17.5%	18.8%	22.7%	26.9%
	北海道	24.7%	26.1%	27.1%	27.6%
	全国	34.2%	35.4%	36.3%	

目標：特定保健指導実施率を向上させる (P30)

平成 25 年度と平成 28 年度の特定保健指導実施率は、30.9%から 49.8%と 18.9 ポイント上昇しています。各年度の目標は達成できませんでした。平成 25 年度から平成 27 年度までの実施率を全国・北海道と比較すると高い状況となっています。

項目		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
対象者数		667 人	706 人	703 人	848 人
終了者数		206 人	215 人	244 人	422 人
釧路市国保目標実施率		35.0%	40.0%	45.0%	50.0%
実施率	釧路市国保	30.9%	30.5%	34.7%	49.8%
	北海道	28.6%	29.1%	30.9%	33.6%
	全国	22.5%	23.0%	25.1%	

目標：重症化予防対象者の HbA1c の改善割合を毎年度 1.0%向上させる (P31)

平成 27 年度の健診結果で HbA1c が 6.5%以上であった人のうち、平成 28 年度に改善した人の割合は 23.6%となり、前年度より 4.0 ポイント上昇したことから目標を達成できました。

目標：重症化予防対象者の血圧の改善割合を毎年度 1.5%向上させる (P31)

平成 27 年度の健診結果でⅡ度高血圧(160/100mmHg)以上であった人のうち、平成 28 年度に改善した人の割合は 40.8%となり、前年度より 0.8 ポイント上昇しましたが目標は達成できませんでした。

目標：重症化予防対象者の LDL コレステロールの改善割合を毎年度 2.5%向上させる (P31)

平成 27 年度の健診結果で LDL コレステロールが 180mg/dl 以上であった人のうち、平成 28 年度に改善した人の割合は 48.9%となり、前年度より 2.8 ポイント上昇したことから目標を達成できました。

項目	平成 26 年度～平成 27 年度		平成 27 年度～平成 28 年度		②-①
	改善人数	改善割合①	改善人数	改善割合②	
HbA1c	71 人	19.6%	149 人	23.6%	+4.0%
血圧	127 人	40.0%	171 人	40.8%	+0.8%
LDL コレステロール	149 人	46.1%	159 人	48.9%	+2.8%

第4章～第5章 医療・健診・介護の状況と分析及び分析結果に基づく釧路市の健康課題

■国保の医療費の状況と分析

●1カ月の一人当たり医療費は、平成27年度28,419円、平成28年度28,416円と横ばいとなっています。一人当たり医療費を全国・北海道・同規模保険者と比較すると、毎年度高い状況となっています。(P35)

項目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
1カ月の一人当たり医療費	釧路市国保	27,503円	27,415円	28,419円	28,416円
	同規模保険者	22,855円	23,383円	24,387円	24,344円
	北海道	26,579円	26,642円	27,835円	27,782円
	全国	22,779円	23,292円	24,452円	24,253円

●平成28年度の総医療費は136億4,146万円となっています。このうち生活習慣病の医療費は54億6,938万円で、総医療費に占める割合は40.1%となり、平成27年度より0.9ポイント上昇しました。しかし、がんをその他の医療費としてみると、生活習慣病の医療費は31億6,110万円で総医療費に占める割合は23.2%となり、平成27年度より0.5ポイント減少しています。(P36)

総医療費のうち生活習慣病の占める割合

項目	平成27年度	平成28年度
生活習慣病医療費	56億4,505万円	54億6,938万円
	39.2%	40.1%
その他の医療費	87億6,485万円	81億7,208万円
	60.8%	59.9%
総医療費	144億990万円	136億4,146万円
	100.0%	100.0%

総医療費のうち生活習慣病の占める割合（がんをその他の医療費に含めた場合）

項目	平成27年度	平成28年度
生活習慣病医療費	34億1,856万円	31億6,110万円
	23.7%	23.2%
その他の医療費	109億9,134万円	104億8,036万円
	76.3%	76.8%
総医療費	144億990万円	136億4,146万円
	100.0%	100.0%

■高額な医療費がかかる疾患の状況と分析

●平成28年度の1カ月当たり100万円以上のレセプト及び6カ月以上の入院患者のレセプトの状況では、脳血管疾患及び虚血性心疾患に高額な医療費がかかっています。(P37～P38)

項目	1カ月当たり100万円以上 (一人当たり)	6カ月以上入院 (一人当たり)
脳血管疾患	209万円	370万円
虚血性心疾患	183万円	264万円

●平成28年度の釧路市国保の人工透析患者の医療費は、98人で5億9,990万円となり、一人当たり年間612万円となっています。また、98人のうち68人は基礎疾患に糖尿病があります。(P38)

	<p>●釧路市国保の新規人工透析患者数の状況の推移(P39)</p> <table border="1" data-bbox="507 129 1420 340"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>糖尿病性腎症</th> <th>腎硬化症 (高血圧症)</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 25 年度</td> <td>12 人</td> <td>2 人</td> <td>13 人</td> <td>27 人</td> </tr> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>8 人</td> <td>1 人</td> <td>15 人</td> <td>24 人</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>10 人</td> <td>4 人</td> <td>7 人</td> <td>21 人</td> </tr> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>9 人</td> <td>1 人</td> <td>8 人</td> <td>18 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 28 年度のレセプト 1 件当たりの医療費の状況では、入院、外来ともに、腎不全は高額な医療費がかかる疾患となっています。(P39)</p>	項目	糖尿病性腎症	腎硬化症 (高血圧症)	その他	合計	平成 25 年度	12 人	2 人	13 人	27 人	平成 26 年度	8 人	1 人	15 人	24 人	平成 27 年度	10 人	4 人	7 人	21 人	平成 28 年度	9 人	1 人	8 人	18 人																																								
項目	糖尿病性腎症	腎硬化症 (高血圧症)	その他	合計																																																														
平成 25 年度	12 人	2 人	13 人	27 人																																																														
平成 26 年度	8 人	1 人	15 人	24 人																																																														
平成 27 年度	10 人	4 人	7 人	21 人																																																														
平成 28 年度	9 人	1 人	8 人	18 人																																																														
<p>■高額な医療費がかかる疾患の基礎疾患に関する治療状況と分析</p>	<p>●脳血管疾患、虚血性心疾患及び糖尿病性腎症と診断された人の基礎疾患をみると、糖尿病、高血圧症、脂質異常症を併せ持つ人の割合が高い状況となっています。(P40)</p>																																																																	
<p>■特定健診と特定保健指導等の状況と分析</p>	<p>●特定健診受診率は年々上昇していますが、全国・北海道と比較すると低い状況となっています。年齢別にみると 40 歳から 59 歳までの若い世代の受診率が低い状況となっています。被保険者が健やかに生活できるよう健康寿命の延伸を図るとともに、将来的な医療費の伸びを抑制していくためには、若い世代に対する特定健診の受診勧奨の強化が重要と考えます。(P41)</p> <p>特定健診受診率の推移</p> <table border="1" data-bbox="507 1003 1420 1169"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>釧路市国保</td> <td>17.5%</td> <td>18.8%</td> <td>22.7%</td> <td>26.9%</td> </tr> <tr> <td>北海道</td> <td>24.7%</td> <td>26.1%</td> <td>27.1%</td> <td>27.6%</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>34.2%</td> <td>35.4%</td> <td>36.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>年齢別の特定健診受診率の推移</p> <table border="1" data-bbox="507 1214 1420 1563"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40～44 歳</td> <td>10.1%</td> <td>9.7%</td> <td>10.5%</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>45～49 歳</td> <td>10.4%</td> <td>11.4%</td> <td>11.8%</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>50～54 歳</td> <td>12.5%</td> <td>13.5%</td> <td>13.9%</td> <td>15.4%</td> </tr> <tr> <td>55～59 歳</td> <td>14.3%</td> <td>15.5%</td> <td>16.6%</td> <td>19.2%</td> </tr> <tr> <td>60～64 歳</td> <td>19.2%</td> <td>18.9%</td> <td>21.6%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>65～69 歳</td> <td>20.2%</td> <td>22.8%</td> <td>27.1%</td> <td>31.7%</td> </tr> <tr> <td>70～74 歳</td> <td>18.8%</td> <td>20.0%</td> <td>26.3%</td> <td>31.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>17.5%</td> <td>18.8%</td> <td>22.7%</td> <td>26.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>●平成 28 年度の特定健診未受診者で、かつ医療機関で治療していない人は 6,558 人となり、健康状態を把握できない状況となっています。(P42)</p> <p>●平成 28 年度の健診結果では、男性、女性ともに BMI、腹囲、ALT(GPT)、HDL コレステロール、空腹時血糖、尿酸、収縮期血圧(上の血圧)、拡張期血圧(下の血圧)、LDL コレステロール、血清クレアチニンで基準値を超えている人の割合が全国と比較すると高い状況となっています。(P43)</p> <p>●メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合は、男性、女性ともに、全国・北海道・同規模保険者と比較すると、多い状況となっています。(P44～P45)</p>	項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	釧路市国保	17.5%	18.8%	22.7%	26.9%	北海道	24.7%	26.1%	27.1%	27.6%	全国	34.2%	35.4%	36.3%		項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	40～44 歳	10.1%	9.7%	10.5%	12.4%	45～49 歳	10.4%	11.4%	11.8%	14.3%	50～54 歳	12.5%	13.5%	13.9%	15.4%	55～59 歳	14.3%	15.5%	16.6%	19.2%	60～64 歳	19.2%	18.9%	21.6%	25.6%	65～69 歳	20.2%	22.8%	27.1%	31.7%	70～74 歳	18.8%	20.0%	26.3%	31.1%	合計	17.5%	18.8%	22.7%	26.9%
項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度																																																														
釧路市国保	17.5%	18.8%	22.7%	26.9%																																																														
北海道	24.7%	26.1%	27.1%	27.6%																																																														
全国	34.2%	35.4%	36.3%																																																															
項目	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度																																																														
40～44 歳	10.1%	9.7%	10.5%	12.4%																																																														
45～49 歳	10.4%	11.4%	11.8%	14.3%																																																														
50～54 歳	12.5%	13.5%	13.9%	15.4%																																																														
55～59 歳	14.3%	15.5%	16.6%	19.2%																																																														
60～64 歳	19.2%	18.9%	21.6%	25.6%																																																														
65～69 歳	20.2%	22.8%	27.1%	31.7%																																																														
70～74 歳	18.8%	20.0%	26.3%	31.1%																																																														
合計	17.5%	18.8%	22.7%	26.9%																																																														

- 特定健診質問票の結果では、1回30分以上運動習慣がない人の割合、夕食後間食をとる人の割合、朝食を抜く人の割合が全国・同規模保険者と比較すると高い状況となっています。(P46)
- 喫煙率は16.2%で、全国・同規模保険者と比較すると高い状況となっています。(P46)
- 特定保健指導実施率は年々上昇し、全国・北海道と比較すると高い状況となっています。(P47)

特定保健指導実施率の推移

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
釧路市国保	30.9%	30.5%	34.7%	49.8%
北海道	28.6%	29.1%	30.9%	33.6%
全国	22.5%	23.0%	25.1%	

＜釧路市の健康課題＞(P57)

- 特定健診受診率及び特定保健指導実施率のさらなる向上を図る必要があります。
- 糖尿病性腎症による新規人工透析導入を予防するため、重症化予防対策の強化を図る必要があります。
- 脳血管疾患及び虚血性心疾患の発症を予防するため、重症化予防対策の強化を図る必要があります。

第6章 健康課題に対応した目的・目標の設定

■目的

●目的(P58)

被保険者が健やかに生活できるよう健康寿命の延伸を図るとともに、将来的な医療費の伸びを抑制していくことを目的とします。

■成果目標

●中長期的な目標(P58)

- ①糖尿病性腎症による新規人工透析患者数を減少させます。
- ②脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合を減少させます。

●短期的な目標(P58)

- ①特定健診受診率を向上させます。
(平成30年度32.0%、平成35年度47.0%)
- ②特定保健指導実施率を向上させます。
(平成30年度52.5%、平成35年度60.0%)
- ③重症化予防対象者のHbA1cの改善割合を毎年度20%以上とします。
- ④重症化予防対象者の血圧の改善割合を毎年度40%以上とします。
- ⑤重症化予防対象者のLDLコレステロールの改善割合を毎年度40%以上とします。

第7章 保健事業の実施内容

<p>■ 目的達成に向けた具体的な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健診受診率及び特定保健指導実施率向上等の取組 (P59) <ul style="list-style-type: none"> ・ 未受診者の誕生日に受診勧奨はがきの発送及び受診勧奨電話の実施 ・ 受診勧奨個別訪問の強化(特に受診率の低い 40 歳から 59 歳までの若い世代を対象) ・ 診療情報提供受領事業及び健康診断情報提供受領事業の充実 ・ 重症化予防対象者に対する継続受診の勧奨 ・ 特定保健指導の利用勧奨電話及び未利用者に対する個別訪問による保健指導の実施 ● 生活習慣病の重症化予防対策の取組 (P59) <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者へ個別訪問等による保健指導及び栄養指導の実施 ・ かかりつけ医との連携(栄養指導指示、情報共有等) ● 地域別の状況分析の取組 (P60) <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健診受診率の低い地域に対する受診勧奨電話及び受診勧奨個別訪問等の実施 ・ 庁内関係各課、町内会等と連携し、分析結果を活用した健康教育等の実施
-------------------------	---

第8章 計画の評価・見直し

<p>■ 評価指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 糖尿病性腎症による新規人工透析患者数は、釧路市国民健康保険特定疾病認定申請書等を用いて把握します。(P62) ● 脳血管疾患及び虚血性心疾患の生活習慣病に占める患者数の割合は、KDB 帳票を用いて把握します。(P62) ● 特定健診受診率、特定保健指導実施率(P63) ● 重症化予防対象者の改善割合は、特定健診結果を用いて把握します。(P63)
<p>■ 計画の評価・見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 短期的な目標の達成状況は毎年度評価し、中長期的な目標の達成状況については本計画の最終年度である平成 35 年度に評価します。また、平成 32 年度には進捗状況を確認するため中間評価を行います。(P63) ● 目標の達成状況の評価結果により、必要に応じて本計画の内容を実態に即した効果的なものに見直します。この見直しにあたっては、健康推進課及び介護高齢課等関係各課と連携し行います。(P64)

第9章 計画の公表・周知等

<p>■ 計画の公表・周知等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本計画は釧路市のホームページに掲載するほか、広報くしろを通じてその内容を周知します。(P65)
--------------------	---